

今月のKYT（危険予知トレーニング）

雨の日の昼過ぎの片側1車線道路を走行しています。
左前方には傘をさしている歩行者が見えます。
自車はこのまま直進したいのですが・・・。

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう

Q KIKEN YOCHI TEST
あなたはどのような運転をしますか？



答えは次ページへ

◎ 予想される危険を記入して下さい。氏名

1

2

3



危険予知 ポイント

- ① 道路に飛び出してきた歩行者と衝突する。
- ② 対向車の通過後に道路を右側から横断してきた歩行者と衝突する。
- ③ 後続車に追突される。

歩行者の横断を予測する

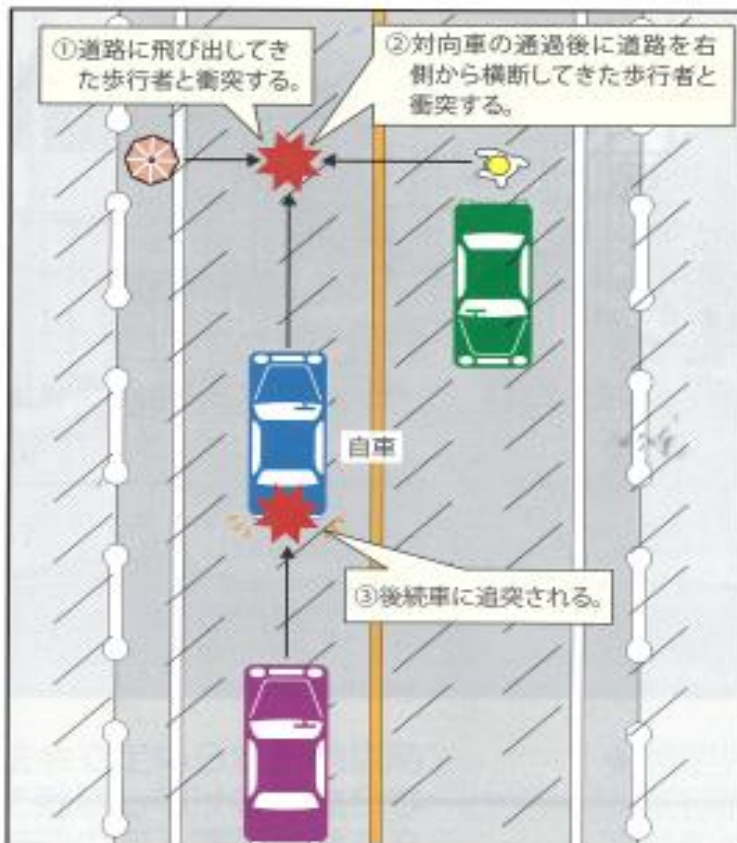
傘を差している歩行者が自転車の接近に気づかず横断してくることを考えられます。また、対向車の通過直後に道路右側から歩行者が横断してくる危険もあります。

左右両方からの歩行者の横断を予測して減速しておきましょう。

後続車へ減速の意志を示す

雨の日は停止距離が長くなることから、横断歩行者に気づいて慌てて急ブレーキを踏むと、後続車に追突されるおそれがあります。

減速する際は、ブレーキを一度に踏み込まず、数回に分けることで、後続車に減速の意志を知らせましょう。そして、そのためには、常に危険予測を働かせ、危険の早期発見に努めることが重要です。



傘を差している歩行者は自転車の接近に気づいていないことを頭に入れ慎重に接近すること

KYT (危険予知訓練) は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。

日々KYTを行い、危険感受度を高めて危険回避に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。